

平成30年度事業評価

課別評価シート

【保健衛生部 保健サービスセンター】

[子育て支援]

[障害者福祉]

[健康づくり]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方（例）
 - ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
 - ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
 - ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
 - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
 - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
 - 新規事業の必要性
 - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
 - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
 - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
 - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

【子育て支援】

1 中間アウトカムと計画事業の一覧	P.2
2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価	P.3
3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価	P.5
4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価	P.6

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【子育て支援】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム (A)
妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている

中間アウトカム (B)
子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

中間アウトカム (C)
子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

基本構想実施計画事業	
① 母親・両親学級の実施	保健サ
② 文京区版ネウボラ事業	保健サ
特定不妊治療への支援	健康推進
ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト	健康推進
妊婦健康診査	健康推進

基本構想実施計画事業	
① 乳幼児家庭支援保健事業	保健サ
子ども家庭相談事業	子家セ
児童虐待防止対策事業	子家セ
児童相談所設置に向けた検討	子家セ
文京版スターティング・ストロング・プロジェクト	教育セ他
子どもの貧困対策	子育て支援他
母子生活支援施設保護事業	再掲 生活福祉

基本構想実施計画事業	
① 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サ
② 文京区版ネウボラ事業	再掲 保健サ
子ども家庭相談事業	再掲 子家セ
親子ひろば事業	再掲 子家セ
家庭教育支援の推進	教育総務
子育てひろば事業	再掲 子育て支援他
子育て情報提供事業	子育て支援
地域団体による地域子育て支援拠点事業	再掲 子育て支援
地域子育てステーション	再掲 幼児保育
母子家庭等自立支援事業	生活福祉
子どもの貧困対策	再掲 子育て支援他

2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

【子育て支援】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（保健サービスセンターが所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (A) 妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	母親・両親学級の実施		妊婦やそのパートナーが、妊娠・出産・子育ての知識を深めている				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3力年計画
	母親学級(平日・土曜日)の実施	回	26			26	78
	両親学級の実施	回	24			24	72
	事業費(千円)		5,595				
	行政コスト(千円)		15,214				
所要人員		1,615					
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	母親学級土曜ショートコースの利用申込数が増加しています。希望する時期に受講できるよう開催方法や定員数について検討していきます。				

②	文京区版ネウボラ事業		妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3力年計画
	ネウボラ面接(妊婦全数面接)	件	2,130			2,130	6,189
	宿泊型ショートステイ事業	日	420			420	1,764
	事業費(千円)		45,273				
	行政コスト(千円)		47,537				
所要人員		2,259					
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	宿泊型ショートステイ事業では、申し込みが集中すると希望の期間に利用することができないことがあったため、平成30年度より委託先を増やしています。今後は安定的な運営を目指します。				

No.	事業名	事業目的
他課	特定不妊治療への支援	不妊治療に関する主体的な受診行動が促されている
他課	ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト	妊娠・出産等に関する正しい知識のもと、区民が主体的に健康維持・増進に取り組んでいる
他課	妊婦健康診査	母体や胎児の健康が守られている

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A)		妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている	
課題等を有する計画事業の有無		有	
事業名 及び 事業目的	母親・両親学級の実施 妊婦やそのパートナーが、妊娠・出産・子育ての知識を深めている	方向性 の類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するためには、妊婦やそのパートナーが適切な時期に妊娠・出産・子育てに関する知識を得られる機会を提供する必要があります。就業している女性(妊婦)にもできるだけ身体に負担をかけない方向で受講の機会を提供できるよう検討していきます。		
事業名 及び 事業目的	文京区版ネウボラ事業 妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	方向性 の類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	妊娠期からの不安や悩みを軽減するためには、妊娠早期から保健師等が妊婦やそのパートナーと顔の見える関係づくりをし、必要な情報提供・助言、及び、サービス利用のための連絡調整をしていくことが有効です。そのため、全ての妊婦と面談が行えるよう事業の周知に努めます。また、産後安心して子育てをするためには、回復が必要な時期に適切に休息をとれることが必要です。支援を要する家庭がタイムリーに産後ケアを利用することができるよう関係機関との連携強化に努めます。		

3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

【子育て支援】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（保健サービスセンターが所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (B) **子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	乳幼児家庭支援保健事業		早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	乳幼児健診時スクリーニング	回	144			144	432
	事業費(千円)		3,727				
	行政コスト(千円)		11,945				
	所要人員		1,328				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名		事業目的				
他課	子ども家庭相談事業		児童虐待が予防されている				
他課	児童虐待防止対策事業		児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている				
他課	児童相談所設置に向けた検討		児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される				
他課	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～		専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている				
他課	子どもの貧困対策		経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている				
他課	母子生活支援施設保護事業		困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている				

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (B) **子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している**

課題等を有する計画事業の有無 **無**

4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

【子育て支援】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（保健サービスセンターが所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (C) 子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的				
①	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	乳児家庭全戸訪問事業実施率	%	89			88
	事業費(千円)		9,435			
	行政コスト(千円)		31,350			
	所要人員		3,580			
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

②	文京区版ネウボラ事業	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している				
※「1-1 子育て支援」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。						

No.	事業名	事業目的
他課	子ども家庭相談事業	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている
他課	親子ひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	家庭教育支援の推進	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている
他課	子育てひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	子育て情報提供事業	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている
他課	地域団体による地域子育て支援拠点事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	地域子育てステーション	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している

No.	事業名	事業目的
他課	母子家庭等自立支援事業	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している
他課	子どもの貧困対策	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム(C)	子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している
課題等を有する計画事業の有無	無

【障害者福祉】

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.9 |
| 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.10 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【障害者福祉】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもがお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

中間アウトカム (A)
障害者が、自立した生活を送っている

基本構想実施計画事業	
① 精神障害回復途上者デイケア事業	保健サ
日中活動系サービス施設の整備	福祉政策
障害者地域自立支援協議会の運営	障害福祉
障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉
地域生活支援拠点等の整備	障害福祉
難病患者等への支援	予防対策他
グループホームの整備	福祉政策他
福祉作業所の大規模改修	福祉政策他
精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化	予防対策
障害者就労支援事業の充実	障害福祉

2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

【障害者福祉】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（保健サービスセンターが所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (A) 障害者が、自立した生活を送っている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	精神障害回復途上者デイケア事業		精神障害者の社会復帰が図られている				
主な取組	デイケア事業参加者	延人数	H29	H30	H31	累計	3カ年計画
			1,212			1,212	4,500
	事業費(千円)		4,227				
	行政コスト(千円)		18,115				
	所要人員		2,320				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名		事業目的	
他課	日中活動系サービス施設の整備		障害者の就労支援や創作活動の場が確保されている	
他課	障害者地域自立支援協議会の運営		障害者の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	
他課	障害者基幹相談支援センターの運営		障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	
他課	地域生活支援拠点等の整備		障害者の包括的な居住支援体制が構築されている	
他課	難病患者等への支援		難病患者やその家族の経済的負担が軽減するとともに、生活の質が向上している	
他課	グループホームの整備		住み慣れた地域で自立した生活を送るための施設整備が進んでいる	
他課	福祉作業所の大規模改修		安心して施設を利用することができる	
他課	精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化		精神障害者が地域で安心かつ安定した生活を送っている	
他課	障害者就労支援事業の充実		地域での自立した職業生活・社会生活が定着している	

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A)	障害者が、自立した生活を送っている
課題等を有する計画事業の有無	無

【健康づくり】

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.13 |
| 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.14 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【保健衛生部 保健サービスセンター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【健康づくり】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	2-4 健康づくり
将来像	だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまち

中間アウトカム (A)
区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

基本構想実施計画事業	
① 生活習慣改善の支援	保健サ
食育普及	健康推進
健康診査・保健指導	健康推進他

2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【保健衛生部 保健サービスセンター】

【健康づくり】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（保健サービスセンターが所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (A) 区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	生活習慣改善の支援		生活習慣が改善し、生活習慣病が予防されている				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度	%	93				85
	ウォーキング教室	人	478			478	1,500
事業費(千円)			4,127				
行政コスト(千円)			-				
所要人員			1,626				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	生活習慣病予防事業の参加者年齢層を見ると、青年期・壮年期(ミドルシニア)の参加者の割合が少ないです。今後はさらにテーマやプログラム内容を工夫することにより、青壮年期に向けた働きかけを行います。				

No.	事業名		事業目的				
他課	食育普及		健全な食生活を送っている				
他課	健康診査・保健指導		健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている				

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A) 区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

課題等を有する計画事業の有無

有

事業名及び事業目的	生活習慣改善の支援	生活習慣が改善し、生活習慣病が予防されている	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度は高く、主体的に健康的な生活習慣を取り入れるための動機づけとして効果があるものと考えます。今後は子育て中の保護者を対象としたプログラムや、対象・テーマに変化をつけたプログラムの実施により青壮年期に向けた働きかけを行っていきます。			

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分